

2014→2023

えべつ未来づくりビジョンへ第6次江別市総合計画

# 「みんなできつくる未来のまちえべつ」の

# 実現をめざして



江別市のこれからの10年のまちづくりビジョンを定めました。

江別市長 三好昇

平成26年4月から、市の最上位の計画であり、今後10年間のまちづくりの指針となる新しい総合計画がスタートしました。今回、このあらましをお知らせします。

**詳細** 政策調整課 ☎ 381-1033 ※市ホームページでも見ることができます。

## 6期目の総合計画

本計画のスタートとなる平成26年度は、江別市の市政施行60周年を迎える年であるとともに、10年後の未来に向けて、市の最上位計画である本計画をスタートする大切な年です。

## 本格的な人口減少社会の到来・変化の激しい社会情勢

一段と進む少子高齢化の中、日本の総人口は減少しており、江別市においても、平成17年をピークに人口が減少し続けている状況です。

また、地域社会を取り巻く環境は、経済のグローバル化や経済・雇用環境の改善に向けた取り組み、あるいは地球規模での環境問題への関心

の高まりにより大きく変化してきている一方で、社会保障関係費や医療費の増加などにより、一層の厳しさを増しています。

さらに、平成23年に発生した東日本大震災は、安全で安心なまちづくりや支え合う地域社会の重要性を改めて私たちに認識させるものでした。

## キーワードは「協働」と「戦略性」

このような状況を踏まえ、今後のまちづくりを進めるにあたっては、少子高齢化と人口減少への対策とともに、地域経済を発展させるための政策を展開しなければなりません。江別市としても、こうした課題に対して、一つひとつ慎重に、かつ柔軟に、そして時には苦渋の判断を持って対



計画書の本誌のデザインは北海道情報大学の学生プロジェクトチームにより制作されました。

処しなければならぬと考えています。

そこで、今回の総合計画は、今後10年先を見越し、「協働」と「戦略性」のキーワードを中心として策定を進めてきました。

「江別市自治基本条例」制定後の初の総合計画です。で、この条例の市民自治の理念を強く意識し、5000人を対象とした「まちづくり市民アンケート調査」から始まり、38名の市民委員による「えべつ未来市民会議」で9か月にわたって議論を重ねていただきました。

そして、各界各層との意見交換、さらには、中学生、高校生、大学生の皆さんからも未来の江別市に対する貴重なご意見を多数いただきました。その後、市内各団体の代表者や大学の有識者、市民委員で構成された行政審議会、さらに深い審議を行っていただき、市民の皆さんの想いがたくさん詰まった内容となっています。

また、本計画では、新たな取り組みとして、江別市が持つ特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくために重点的に取り組む「えべつ

未来戦略」を掲げました。

常に緊急度や優先度を検討し、限られた経営資源の選択と集中により、本計画およびそれと連動する各分野の個別計画や部局別の方針を戦略的に推進していくこととしています。

## 将来の都市像

めざす10年後の将来都市像を、「江別市自治基本条例」の基本理念に基づく「みんなで作る未来のまちえべつ」と決めました。

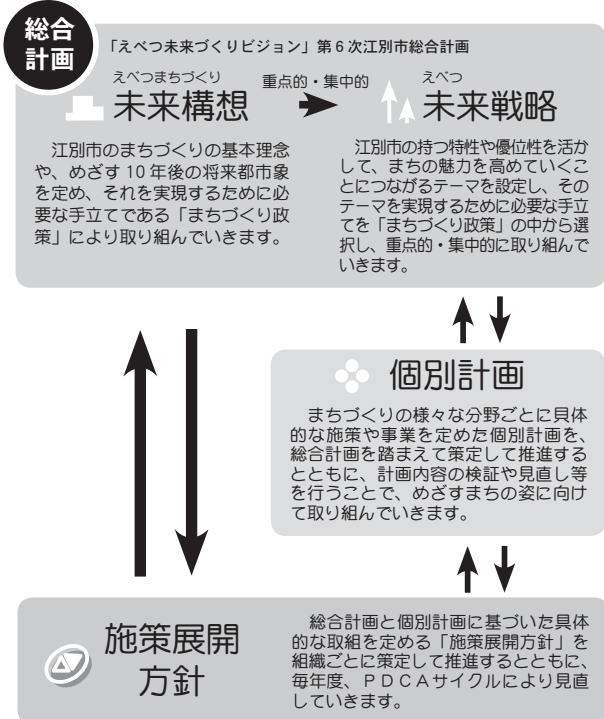
市が丸となって、住みよいまちづくりや地域経済の活性化を進めていくことにより、江別市に住んでいる市民の皆さんが、大きな夢と希望に満ちあふれ、将来にわたって安心して健康で暮らせるような、あるいは、他のまちに住んでいる方や多くの企業に、この江別市に魅力を感じていただけるような活気あるまちづくりをめざしていきます。

未来の江別市に向けて、共に歩んでいきたいと考えておりますので、市民の皆さんのまちづくりへの参加とご協力をお願いいたします。

## 「えべつ未来づくりビジョン」のポイント

### ポイント①

先行き不透明な時代に対応した計画



### ポイント②

基本理念の根幹は「協働のまちづくり」

新しい総合計画では、江別市がめざすまちの姿、そしてそれを実現するための大きな方向性を示しました。そして、具体的な事業や取り組みなどは、分野ごとに定める個別計画や、各部局の年度ごとの取組方針である「施策展開方針」などに位置づけて、総合計画との整合を図りながら推進すること、常に社会情勢の変化を踏まえて柔軟に対応できるようにしました。

江別市を取り巻く状況は、経済や社会の情勢により大きく変わってきていますが、い

つ、時代においても、そこに暮らしているすべての市民の皆さんが幸せになることが、



別冊「えべつ未来戦略」のデザインも北海道情報大学の学生プロジェクトチームにより制作されました。



### 協働のまちづくり

り、また、江別市に住んでいない人でもぜひ住んでみたいと思えるようなまちづくりをめざして、4つの基本理念を掲げました。

そして、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や様々な世代が、それぞれの役割と責任を理解し、互いに尊重しながら協力して地域課題に取り組む「協働のまちづくり」が基本理念の根幹にあります。

「まちづくりで一番大切なことです。」

このため、市民の皆さんが暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり

## ポイント③ 人口減少・少子高齢化を見据えたまちづくり

計画の終期である平成35年の人口は、平成22年の約12万4000人から9000人近く減少して、約11万5000人となり、少子高齢化もさらに進行すると見込まれています。

このため、これからは成長を前提にして社会資本を郊外へ広げる「拡大型のまちづくり」ではなく、日常生活に必要なサービスが身近にあり、暮らしやすさや豊かさを実感

できる「駅を中心とした集約型のまちづくり」による持続可能なまちをめざしていきます。

駅を中心とした利便性の高い市街地形成を進めていくとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区との間で、それぞれの特性や既存の都市機能を有効に結び付けて、誰もが暮らしやすさや豊かさを実感できるようにまちづくりをめざしていきます。

また、10年後の人口について

## ポイント④ 「まちづくり政策」と「えべつ未来戦略」の二本立て

### ●まちづくり政策

市政全般にわたる政策展開の基本的な考え方と取り組みの基本方針を、分野別・部局別に展開するもので、9つの分野別の政策で構成しています。

### ●えべつ未来戦略

今回の総合計画では、新たな試みとして「えべつ未来戦略」を構築しました。江別市の持つ特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことにつながるテーマを設定し、そのテーマを実現するために必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいくこととするものです。



分野別のまちづくり政策

## ポイント⑤ 重点的・集中的に取り組む4つの戦略

総合計画に市民意見を反映するために設置した「えべつ未来市民会議」からの提言などから、4つの戦略とそれを

えべつ未来戦略

**戦略1** ともにつくる協働のまちづくり

戦略プロジェクト

- 多様な主体が協働するまちづくり
- 大学が活躍するまちづくり

【戦略の概要】

市民や各種団体など多様な主体や様々な世代が、一緒になってまちづくりに取り組める環境づくりや、江別市の特性である市内の4つの大学や学生が、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

**戦略2** えべつの将来を創る産業活性化

戦略プロジェクト

- 産業間連携等による産業の活性化
- 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開
- 雇用の創出と人材育成の支援
- 地域資源の活用による観光の振興

【戦略の概要】

江別市の特性である大学・研究機関などの知的資源を活かした産学官連携や産業間連携による産業の活性化、市内での雇用創出と就労環境の整備、様々な地域資源や立地性を活かした江別市ならではの観光振興による経済の活性化などに取り組みます。

**戦略3** 次世代に向けた住みよいえべつづくり

戦略プロジェクト

- 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり
- 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【戦略の概要】

子どもを産み育てる環境を充実させ、子育て世代の定住促進に取り組みます。また、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性の向上に取り組むとともに、駅周辺とその他の地区との間で既存の都市機能を有効に結び付けることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

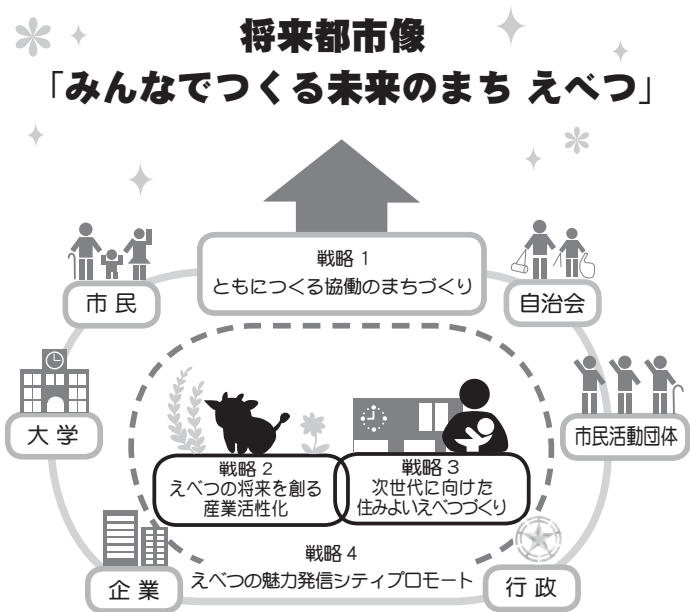
**戦略4** えべつの魅力発信シティプロモート

戦略プロジェクト

- ニーズにあわせた効果的な情報発信

【戦略の概要】

多様な媒体を活用するとともに、市民や企業などと一体的に江別市の創造的な取り組みや魅力を情報発信し、対外的に浸透させるシティプロモートを推進することで、江別市の認知度の向上に取り組みます。



〈4つの戦略の関係〉

具体的に進めるための戦略プロジェクトを設定しました。その時々々の社会経済情勢などを踏まえ、必要に応じて事業内容を見直しながら推進していきます。

また、それぞれの戦略を単

独で推進するのではなく、戦略と戦略、あるいは戦略と分野ごとの個別計画などをしっかりと連動させることで、より効果的に「えべつ未来戦略」を推進していきます。

**資料を公開**

開かれた市政のために、えべつ未来づくりビジョンへ第6次江別市総合計画の推進に関する資料として、「部局別施策展開方針計画書」・「えべつ未来戦略推進計画書」・「事務事業評価表【改革版】」を市役所本庁1階情報公開コーナーと情報図書館で公開しています。

また、市ホームページでも見ることができます。

詳細 政策調整課 ☎ 381-1033